

YAMAHA

ヤマハ市販モトクロスー

「YZ250」 「YZ125」

'81年モデルの新発売について

—— Y.E.I.S 採用機種がデビュー ——

昭和55年11月12日

ヤマハ発動機株式会社

本社広報部 ●〒438 静岡県磐田市新貝2500 TEL.05383-XXXX / 東京広報部 ●〒104 東京都中央区銀座 TEL.03-XXXX-XXXX

当社では市販モトクロスパーYZシリーズの'81年モデルとして「YZ 250」「YZ 125」を11月15日から新発売いたします。

'81年モデルの「YZ 250」は省エネルギーエンジンシステムY.E.I.Sを国内市販モデルに初めて採用、また「YZ 125」には2サイクル・水冷エンジンを採用するなど当社の新技術を積極的に導入し大幅に戦闘力を向上させたものです。

記

名 称 : ヤマハモトクロスパー「YZ 250」
ヤマハモトクロスパー「YZ 125」

発 売 日 : 昭和55年11月15日

標準現金価格 : 「YZ 250」 390,000円
「YZ 125」 297,000円。

生産台数 : 「YZ 250」 10,000台/年
(内国内1,000台)

「YZ 125」 20,000台/年
(内国内2,000台)

ヤマハモトクロスー「YZ250」

’81年モデル「YZ250」は当社が開発した省エネルギーエンジンシステムY.E.I.S（ヤマハ・エネルギー・インダクション・システム）を国内市販モデルとして初めて採用して登場するものです。

Y.E.I.Sの採用による出力特性の向上、車体関係のグレードアップを図り総合的な戦闘力を大幅に向上させています。

’81年モデル「YZ250」の主な特徴

1. Y.E.I.Sを採用、出力・燃費あわせて低中速の性能をアップ

エンジンの回転全域にわたって出力および燃費の両面での特性を向上させる効果のあるY.E.I.Sを採用。また250CCクラスのモトクロスーで最も重要な低中速域のパワーアップを図っています。同時にエンジン各部の改良により高速性能も向上、総合的な出力特性もより扱いやすく大幅な向上を果しています。

2. 定評ある2サイクル・トルクインダクションエンジン

シリンダーヘッドは放熱効果にすぐれたラジアルフィン、点火方式は信頼性が高くメンテナンスフリーのCDI点火方式を採用するなど従来のすぐれた特徴を継承しています。

3. 出力アップにあったクラッチ容量の増大、パワートレーンの改善

Y.E.I.Sの採用にともなう出力アップに合わせてクラッチ容量も増大、あわせてトランスミッションを5速にしパワートレーンの改善を図っています。

4. フロントフォークの剛性アップ、すぐれたサスペンション性能を確保

フロントフォークの剛性を高めるとともにピストンスライド式としDUメタルを使用によりフリクションを大幅に軽減。同時にダンパーオイル容量を増大してダンパー機能を高め、すぐれたサスペンション性能を確保しています。

5. 24段減衰力調整のモノクロス・サスペンション

フロントフォークの性能アップにあわせリヤのモノクロス・サスペンションは減衰力調整を24段に増加、セッティングの幅を拡大して最適のサスペンション性能を確保できるものとなりました。

6. 強度、剛性を高め軽量化したフレーム

フレームはセミダブルクレードル型を採用、強度、剛性を高め同時に軽量化を果しています。

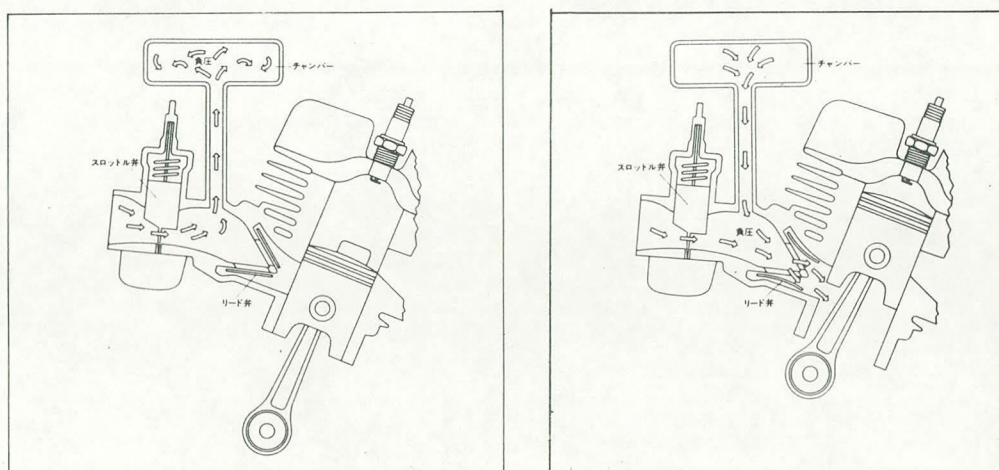
7. 随所に耐久性、信頼性を向上させる設計

チェンジペダルの先端部を可動式とし操作の確実性を高めています。クラッチおよびブレーキのレバーにはレース中の併走や追越し時の抜け出しに有利なショーターレバーを採用。レバーホルダーは整備性にすぐれた2ピースタイプです。タイヤはグリップがよく泥ハケのよいニューパターンを採用。リヤブレーキのドラム径をアップしブレーキ性能を強化。ドライブチェーンのテンションローラーに作動音が低く耐久性に富んだゴム製を採用するなど各部の耐久性、信頼性の向上をはかっています。

Y.E.I.Sの採用について

Y.E.I.S (ヤマハ・エネルギー・インダクション・システム)は、ヤマハの省エネルギーエンジンシステムの一環として、低負荷時のエンジン特性の向上をすすめてきた過程で開発した当社独自の技術です。

このすぐれた効果はレーシングマシンでも十分に発揮できる応用性を持つことから'81年モデル「YZ250」に初採用したものです。



Y.E.I.Sの作動状況

その仕組みは、キャブレターとシリンダーをつなぐ吸気管の一部に枝管を設けてチャンバーと結び、シリンダーに吸入される混合気流速の変動をスムーズにするものです。これによりエンジンの回転全域にわたって理想的な吸入効率を確保し、出力および燃費の両面での特性を向上させています。

このY.E.I.Sの特性は吸気管の一部につながる枝管の径および長さ、さらに枝管に結ばれるチャンバーの容積などによって決定されますが「YZ250」では、この特性を250CC級モトクロスとして最も重要な低中速に合わせ、低中速のパワーアップを図っています。

ヤマハモトクロスー「YZ125」

’75年・ワークスマシン「YZM125」によってモトクロスー用エンジンの水冷化に先鞭をつけたヤマハが、以来6シーズンにわたって鍛えあげた独自の技術成果をいち早く市販マシンにフィードバックして新開発したのが’81年モデル「YZ125」で「YZM125」のレプリカモデルです。

♂あたり240PSという水冷エンジンならではのハイパワーと89Kgの軽量な車体重量と相まって発揮される「YZ125」の走りは圧倒的です。

’81年モデル「YZ125」の特徴

1. 高出力・コンパクト・軽量な水冷・2サイクルエンジン

ワークスマシン「YZM125」で高い信頼性を立証した水冷システムは最高出力30PS/10500rpm、最大トルク2.04Kg-m/10000rpmの高出力、高トルクを実現しながらあわせて中低速トルクをも増大させすぐれたトータルパワーを発揮する新わめてコンパクト・軽量にまとめられています。

2. 冷却効果が高くハンドリング性能が軽快な水冷システム

水冷システムのラジエターは放熱効果の高いアルミ製。通風効果の良い取付位置とフロントフォーク幅内に入る軽量・コンパクト化を実現、これにより冷却効果を一段と高め、また泥ハネ、飛び石にも強く、転倒時のダメージも受けにくいものとしています。

また、通水路の合理的な設計によりウォーターホースの取回わしを簡素化し軽快なハンドリング性能を確保しています。

3. 高い動力性能にあった車体の新設計

水冷エンジンの採用による動力性能の大幅な向上にあわせ車体関係も全面的な設計の見直しを行っています。フレームは新設計のセミダブルクレードル型に、また重量バランスの改善、操縦性の向上を図った設計としています。

4. 250CCクラス並みのフロントフォーク剛性を確保

フロントフォークの剛性を250CCクラス並みに強化、ピストンスライド式としてDUメタルの使用によりフリクションを大幅に軽減また安定した減衰力を確保するなどサスペンション機能を一段と向上させています。

5. 随所に耐久性、信頼性を向上させる設計

ハンドルグリップパターンを一新、グリップ感触を高めると同時にレバーをレース時に有利なショーターレバーを採用。

また、レバーホルダーは整備性にすぐれた2ピースタイプです。

チェンジペタルの先端部を可動式とし操作の確実性を高めています。

この他にもニューパターンタイヤの採用、リヤホイールのスポークのサイズアップ、ナイロン製からゴム製に変更したチェーン・テンションローラー等によって、耐久性、信頼性を向上させています。

ヤマハモトクロッサー「YZ250」仕様諸元

名 称		ヤマハモトクロッサー「YZ250」
寸法及び重量	全 長	2 1 7 5 mm
	全 幅	8 8 0 mm
	全 高	1 2 2 0 mm
	シ ー ト 高	9 5 0 mm
	軸 間 距 離	1 4 8 0 mm
	乾 燥 重 量	9 9 Kg
原 動 機	原動機種類	2 サイクル、ピストン・リードバルブ
	気筒数配列	単 気 筒
	総排気量	2 4 6 CC
	内径×行程	7 0 mm × 6 4 mm
	圧 縮 比	8 1 : 1
	最高出力	4 1 p s / 8 0 0 0 r p m
	最大トルク	3.8 Kg-m / 7 0 0 0 r p m
	始動方式	キック式
	点火方式	C . D . I
	燃料タンク容量	9.0 ℓ
	オイルタンク容量	
	潤滑方式	混合潤滑 (1 6 : 1)
トランスミッション	常時噛合式前進 5 段	
タイヤサイズ (前)	3 0 0 - 2 1 - 4 P R	
" (後)	5 1 0 - 1 8 - 4 P R	
制 動 装 置 (前)	ドラムブレーキ (リーディング、トレーリング)	
" (後)	同 上	

ヤマハモトクロッサー「YZ125」仕様諸元

名 称		ヤマハモトクロッサー「YZ125」
寸法及び重量	全 長	2 1 4 0 mm
	全 幅	8 8 0 mm
	全 高	1 2 5 0 mm
	シ ー ト 高	9 4 5 mm
	軸 間 距 離	1 4 5 0 mm
	乾 燥 重 量	8 9 Kg
原 動 機	原動機種類	2サイクル、水冷、ピストンリードバルブ
	気筒数配列	単 気 筒
	総排気量	1 2 3 CC
	内径×行程	5 6 mm × 5 0 mm
	圧 縮 比	8.1 : 1
	最高出力	3 0.0 ps / 1 0 5 0 0 rpm
	最大トルク	2 0.4 Kg-m / 1 0 0 0 0 rpm
	始動方式	キック式
	点火方式	C . D . I
	燃料タンク容量	6.5 ℓ
	オイルタンク容量	
	潤滑方式	混合潤滑 (1 6 : 1)
トランスミッション	常時噛合式前進6段	
タイヤサイズ (前)	3 0 0 - 2 1 - 4 PR	
" (後)	4 0 0 - 1 8 - 4 PR	
制動装置 (前)	ドラム (リーディング、トレーリング)	
" (後)	同 上	